

## リニア・鉄道館 第4回企画展

### 『東海道新幹線の誕生～東海道の東西の難所を克服する～』のお知らせ

東海道新幹線のルート選定から運行開始に至るまでの歴史について、期間限定の企画展を行います。

#### 1 開催期間

平成27年3月18日（水）～9月28日（月）

※毎週火曜日は休館日です。

※春休み、ゴールデンウィーク、夏休みは火曜日も開館します。

#### 2 場所

2階「収蔵展示室」 ※入館料のみでご覧いただけます。

#### 3 概要

東京～大阪間を結ぶ幹線鉄道は、箱根、関ヶ原という東西の難所を越えるための苦心を重ね、ルート変更を行いながら、戦後、現在の東海道本線のルートが確立しました。その後、日本の経済活動が活発になるなか、輸送力増強のため、東海道新幹線の建設に至りました。

東海道新幹線は、昭和34（1959）年4月13日、東海道本線（在来線）の線増（複々線化）として認可されました。その工期は5年間とされ、この限られた期間で完成させるため、鍵となったのは、ルートの選定と工期を要する長大トンネルの建設です。

東海道新幹線が東西の難所をどのように克服したのか、「東」は新丹那トンネルの建設を中心に、「西」は名古屋～京都付近のルート選定の経緯を中心に、当時の貴重な資料や映像、模型などを使って紹介します。



新丹那トンネルから進出するN700系



伊吹山をバックに走るN700A